

真野響子一人芝居

演出／笠井賢一

音楽／吹き物 設楽瞬山

打ち物 橘政愛

美術／望月通陽

夏目漱石作

夢十夜



第五夜より

「こんな夢を見た」ではじまる、漱石の作家として本質的なモチーフが秘められた夢の物語。秘めやかな夢の世界の透明度から不気味さ、喜劇性まで女優真野響子が、夢の棲家である能舞台で縦横に語り演じる。

それに、染め絵作家、望月通陽の冥界から何事かを語るべく帰ってきた魂の形象が背後に揺らめき、橘政愛のパーカッションと設楽瞬山の尺八と笛が、物語られる夢に纏わるように記憶の深層に導き、漱石の夢が織り上げられ、染め出されていく。

2012年1月28日(土) 14時開演 鉄仙会能楽研修所 入場料5000円



第十夜より

「夢十夜」。読むのと語るのとはこんなに違うものなのかと思う。

まず音が、リズムが美しい。声にしなげら日本語とはこれほど響きの良い言語だったのかと嬉しくなる。

次にイメージの広がり。「行語るたびに、頭の中に鮮明に情景が広がってゆく。映像にも勝る世界。そして品格。

どんなに恐ろしい場面でも漱石の言葉にかかると毒気が抜かれたように品良くなってしまう。

そして凄いののはこれらが全て夢の中だということ。

五つの漱石の夢の世界を皆様にご案内できれば、こんなに幸せなことはありません。

真野響子

第一夜 私の目の前で横たわった女が「もう死にます」という。死んだら埋めて、墓の傍で百年待っていて下さい、きっと会いに来ますからという。私は待ち続けるが一向に百年がまだ来ない。自分は騙されたのかと思う。そのとき百合の薔が伸びてきて目の前で花開き…

第三夜 目が潰れて青坊主になった六歳の我子を背負って歩いている。子供はまるで大人のような口を聞く。私は早くこの子供を捨てたいと森の中に急ぐ。子供は此処だ此処だ、と言いつつ「お前がおれを殺したのは丁度百年前だね」という。自分が人殺しであった気づいたとたん…

第五夜 神代に近い昔、敵側の捕虜となった私は、死ぬ前に「目恋人に会いたいと願う。女が夜空けまでに来なければ会えないまま自分は殺されてしまう。女はそのとき白馬に跨り、散にやってくる。そのとき夜明けの鶏の声。声めに女はとっさに手綱を控え、二声めには手綱を緩め馬は諸膝を折って女もろともに深い淵へ…

第七夜 なんでも大きな船に乗っているが、何処に向うかも解らない。自分は詰らなくなつて死ぬ決心をした。夜になって思い切つて海の中に飛び込んだ。しかし足が甲板を離れたとたん急に命が惜しくなるが…

第十夜 女の後をついて行き行方不明になった庄太郎が七日目に帰つてきて寝込んだ。庄太郎が言うには、女についていくと絶壁に出た。女は此処から飛び降りろという。辞退する庄太郎に、豚に鼻を舐められますよと女は言う。次々とやってくる豚を庄太郎は六日七晩、洋杖で豚の鼻面を叩き続けるがついに鼻を舐められたという。

真野響子 (まやきょうこ)

東京都出身。桐朋学園大学芸術学部演劇科卒業後、劇団民藝に入団。92年フリーに。美術に造詣が深く、女優業以外で、金沢大学講師、神戸市立森林植物園名譽園長等幅広く活躍している。

主な出演作品：TVドラマ「雲と風と虹と」、「御宿かわせみ」、「流れてやまず」、「愛情物語」、「炎立つ」、「06年NHKドラマ「ちゅらさん」」、「08年NHK大河ドラマ「篤姫」」、「10年NHKドラマ「坂の上の雲」など。映画「忍ぶ糸」、「男はつらいよ 寅次郎と殿様」、「良寛」、「陽はまた昇る」、「春の雷」、「10年「FLOWERS」など。舞台「桜の園」、「迷路」、「青春の門」、「日の出」、「おわが街」、「シルビア」、「10年「おくりびと」など。

設楽 瞬山 (したらしゆんざん)

都山流尺八奏者として活躍。演奏活動のほかに、演劇や語りの音楽として、演劇的な内容に深く添った表現を実現する。代表作に若村麻由美・人芝居「小幸相身投—平家物語による—」や、同じ平家物語による「麻実れいの語り芝居「女院出家」の音楽がある。

橋政愛 (たかはま まさよし)

打楽器奏者。既製の楽器に加え、鉄片、木片、植木鉢などを用い、透明感のある独自の音の世界で演劇の音楽を創る。創作竹楽器集団「東京楽竹団」代表。

望月 通陽 (もちつき みちあき)

静岡県出身。染め絵作家として独自の世界を拓く。ほかに陶芸、ガラス絵、紙版画、リトグラフ、木彫、ブロンズなどジャンルを超えて多彩な仕事を続けている。装幀も多く手がけ、講談社出版文化賞ブックデザイン賞受賞。画文集「道に降りた散步家」、作品集「円周の羊」など。

細田 ひな子 (ほそだ ひなこ)

衣装制作。山野美容専門学校卒業。衣装デザイン、衣装製作、着付、ヘアメイクなど様々なジャンルを手がける。衣装家としてはオマケから和物まで幅広くデザイン。

笠井 賢一 (かさい けんいち)

1949年生まれ。今尾哲也氏「歌舞伎研究」に師事。歌舞伎俳優八世坂東三津五郎秘書として著作の助手を務める。劇作、演出家として古典と現代をなく演劇活動を、能狂言役者や歌舞伎役者、現代劇の役者たちと続ける。「古事記から源氏物語」「平家物語」「近松門左衛門、宮澤賢治 新作能まで幅広く演出。アトリエ花習代表。

日時：2012年1月28日(土) 14時開演 / 13時半開場

入場料：5000円(全自由席)

会場：鏡仙会能楽研修所

(交通)地下鉄表参道駅下車

(銀座線・千代田線・半蔵門線)

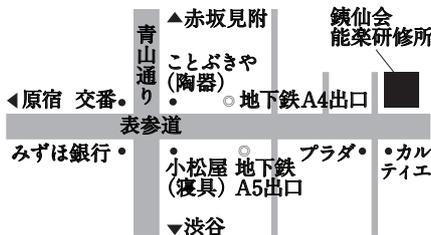
A4出口より徒歩3分

〒107-0062

東京都港区南青山4-21-29

TEL 03-3401-2285

※駐車場はございませんので
お車での来場は遠慮下さい。



申込先：アトリエ花習 TEL 090-9676-3798

FAX 03-5988-2810